

02

目次
ふるさと納税で弘前を元気に！

03

市政

新しい弘前市総合計画を策定します！

04

特集

弘前デザインウィーク

08

市政情報
◆介護保険負担限度額認定証の更新

◆児童扶養手当の申請など

◆9月9日は救急の日

◆市民活動情報発信コーナー

ほか

フォトコレ in ひろさき

14

プロ野球一軍戦

よさこい津軽

市民の健康まつり

ほか

15

学生企画コーナー

もっと②♥弘前 !!

16

暮らしの information

イベント、教室など

27

Health Information

健康の掲示板

28

読者のひろば

smile 通信

さらっと一句・川柳

弘前図書館近着図書紹介

食改さんおすすめレシピ

31

市政

伝えたい！市の想い！ Vol.5

ふるさと納税で弘前を元気に！

ふるさと納税は、自分が生まれ育ったふるさとやゆかりのある地域を応援したいという思いを形にできる制度です。当市では、ふるさと納税でいただいた寄附金を弘前公園のさくらの維持管理や子育て環境の充実、弘前城石垣修理事業などにかかる費用に活用しています。

寄附者の皆さんへは、市の特産品などをお礼の品としてお送りしているほか、弘前城石垣修理事業を応援する「石垣普請応援コース」では、寄附者の皆さんを一口城主とし、弘前城天守内への名前の掲載や、石垣普請に関するイベントの案内などを行っています。

ぜひこの制度を活用して弘前市の応援をお願いします。



弘前市民がお礼の品をもらえるのは8月まで！

今年4月に総務省より通知された「ふるさと納税に係る返礼品の送付について」の内容を受け、市民に対する特産品などのお礼の品の送付は、平成29年8月末までに寄附した人のみが対象となります。※9月以降は、市民へのお礼の品の送付はありませんが、寄附は引き続き受け付けます。

申し込み方法

次のいずれかの方法で申し込みを。
①寄附申出書（市ホームページからダウンロードまたは窓口で配布）を広聴広報課へ送付

②ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」から申し込み（クレジットカード決済・郵便振替のみ）

■問い合わせ・申込先 広聴広報課（〒036・8551、上白銀町1の1、☎40・0494、ファックス35・0080、Eメール kochokoho@city.hirosaki.lg.jp）



【今号の表紙】 公園でひとやすみ

7月初旬、弘前公園の植物園前で羽を休めているオシドリに遭遇。その姿は季節の移り変わりを、ゆっくりと時間をかけて目に焼き付けていた。いよいよ夏本番です。このオシドリのように、たまには公園でゆっくりとした時間を過ごしてみてはいかがですか？街中よりも涼しく感じられ、過ごしやすいかもしれませんよ。

新しい弘前市総合計画を策定します！



月から、市民の皆さんや各分野の専門団体等との意見交換会を開催しています。

今回は、今までの意見交換会でいただいた意見・アイデアの一部を紹介します。

■問い合わせ先 ひろさき未来戦略研究センター（☎40・7021）

市民意見交換会（延べ137人参加）※6月末時点。

りんごのせん定枝は暖かいところで生けておくと桜が咲く前に花を咲かせるので、それを公共施設などに飾って観光資源にしたらどうか？

「日本で最も美しい村連合」へ加盟したが、景観を阻害している空き家などがあるのでも、市で対策してほしい！

個々の農業経営者がグループで企業化することによって、経営が安定化したり収入の増加が図られるのでは？

地域おこし協力隊の東目屋地区への配置について検討してほしい！

地元に学生の就職先がないのが現状なので、製造業を誘致するべきでは？

少子化は、個人の所得が少なくなっていて安心して子どもを産み育てられないことが原因だと思うので、市民の所得向上を目指す施策を打ち出してほしい！

8月は右記の地区で市民意見交換会を開催します。誰でも参加できますのでぜひおこしください。

地区名	とき	ところ
清水	8月18日（金）、午後1時半～2時半	清水交流センター（大開2丁目）
文京	8月21日（月）、午後1時半～2時半	中野集会所（中野2丁目）
一大	8月23日（水）、午後1時半～2時半	駅前地区都市改造記念会館（駅前3丁目）

専門団体等との意見交換会（全12分野）

子育て分野（20団体）



必要とする情報が子育て世代に行き届くよう工夫を重ねてほしい。企業や地域、各種団体などが連携して子育て支援をしていければ良い。など

文化芸術分野（14団体）



団体単体ではなく、他団体と連携して多世代が参加できるようなイベントを開催することで、新たなメンバーが発掘できるのでは？など

学校教育分野（13団体）



社会に出ると答えのない問題にたくさん直面していくので、窮屈をくぐり抜けていくための知恵を身につけ、人格の形成につながるような教育に取り組んでほしい。など

健康分野（14団体）



保健師がもっと地域に赴き、市民へ健診の受診を働きかける体制が必要。50歳未満の若い人が何が原因で亡くなっているかを分析することも必要。など

観光分野（10団体）



扇形ねぷたは美術品であり、ねぷたまつりは「屋外の美術展示場」だという切り口のPRも特に海外向に必要ではないか？など

農林分野（11団体）



高齢化、担い手不足、耕作放棄地などの問題の進行をできるだけ遅らせて、その間に若い人材の育成や海外販路開拓などを進め、魅力ある産業にしていくことが必要ではないか？など